

すてきな二人組が書いてある本を読み、

すきなところをしょうかいしよう

中心学習材「お手紙」(光村図書2年下)

<育てたい主となる能力>

- ◎ 文章の内容と自分の経験とを結び付けて自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。(読才)

<主となる言語活動>

- ◎二人の登場人物が心を通わせるストーリーの本の中からお薦めの本を選び、好きなところを紹介し合う。

1 子どもと単元について

(1) 学習者観

子どもたちは、「読むこと」の学習として、「ふきのとう」では、会話文や動き、挿絵等に注目して場面の様子を想像し、声の大きさや読む速さ、動作化など音読の工夫に取り入れて音読する活動を行っている。「スイミー」の学習では、登場人物の行動に着目し、どんな活躍をしたかをとらえ、かるたに書いて紹介し合う活動を行った。さらに好きなヒーローが書いてある本を読み、どんな活躍をしたかをとらえ、かるたに書いて交流し合う活動を行っている。「黄色いバケツ」の学習では、心に残った場面を選び、音読発表会を行った。これらの活動を通して、登場人物の特徴をとらえて、人物を紹介する力や読み取ったことを音声や文章に表現する力が付いてきている。

読書については、子どもたちは本が好きで図書館で本を借りる子が多く、週2回の朝読書にも意欲的に取り組んでいる。また、読み聞かせや学級文庫の充実、図書館利用の時間を設定して、読書への興味を喚起し、楽しんで読書をする態度を育てよう心がけてきた。1年生の時からお薦めの本の簡単なあらすじや好きな場面の絵をカードに書いて紹介する活動や、読んだ本を劇にして紹介するという活動を行ってきており、友達の紹介する本にも興味をもって読むことができている。

(2) 学習材観

本単元「すてきな二人組が書いてある本を読み、すきなところをしょうかいしよう」では、二人の登場人物が心を通わせるストーリーの本の中からお薦めの本を選び、好きな場面を紹介し合うことをねらいとしている。

中心学習材「お手紙」は、一度もお手紙をもらったことのないがまくんと、友達の悲しみを自分の悲しみとして受け止め、お手紙を出すかえるくんと心の交流が中心に書かれている。子どもたちは、がまくんとかえるくんに寄り添いながら、ともに悲しんだり喜んだりして物語の世界に浸ることができるであろう。また、会話文が多く、会話文から人物の特徴や物語の展開をとらえやすくなっている。また、挿絵が効果的に使われ、場面の様子だけでなく、がまくんとかえるくんの心の動きをもとらえやすくなっている。がまくんを思いお手紙を出すかえるくんの優しさや、かえるくんのお手紙の内容を聞いて幸せな気持ちになるがまくんの様子から二人をすてきだなどと思い、二人の友情の温かさを感じることができる学習材であると考えられる。

次に「お手紙」の学習で学んだことを生かして、自分が選んだすてきな二人組が書いてある本を紹介する活動を行う。絵本には、二人の登場人物を中心にして展開するストーリーが多い。二人組が出てくる本を二人の心の通い合いをテーマに読み進め、ブックリストを作ったり、紹介し合ったりする活動を通して、読書の楽しさを感じることができるように考える。

(3) 学習指導観

指導に当たっては、以下の点に留意していく。

第1次では、今まで読んだ本の中で、二人組が出てくる本にはどんなものがあつたか話し合う活動を行う。また、教師や図書ボランティアの、読み聞かせやブックトークを基に、すてきな二人だなどという本を選び、好きなところを紹介し合うという単元のゴールを明確にして学習計画を立てる。

第2次では、まず、中心学習材「お手紙」を読んで、話の展開のおもしろさを考えたり、登場人物の行動や会話から人物像を考えたりする活動を行う。その後、「お手紙」の中の、がまくんとかえるくんがすてきだなどと思ったところを紹介する活動を行う。紹介の要素として、会話、場面、行動、二人のかかわり方の中から一つを選んで、すてきだなどと思った理由も併せて紹介できるようにする。紹介の際には、

ペープサートや紙芝居などの方法から、子どもたちがそれぞれ選んで紹介できるようにしたい。

第3次では、今まで読み進めてきた二人の登場人物が心を通わせるストーリーの本の中から、すてきだなと思う二人を選び、どんなところがすてきなのかを紹介するための準備を行う。「お手紙」で学んだことを生かし、自分が選んだ本の二人組のどこがすてきなのか、会話、場面、行動、かかわり方の中から一つを選び、すてきだなと思った理由も一緒に紹介できるようにしたい。紹介の際には、「お手紙」の時と同様に、ペープサートや紙芝居などの方法を使って紹介できるようにしたい。

第4次は、自分が選んだ本を紹介し合う活動を行う。そして、友達のお薦めの本を興味をもって読むことができるようにする。

《読書との関連》

本単元では、読書との関連を以下のように図っていく。

単元の学習に入る前に、図書ボランティアによるお話会で、「お手紙」の作者であるアーノルド＝ローベルの作品や二人組が出てくる本について、ブックトークと読み聞かせをしてもらい、並行読書への意欲もたせるようにする。読書を進めるに当たり、簡単な感想やお気に入りの度合を記入できるようなブックリストを作成することで、読書への意欲を喚起し、継続できるようにしたい。

【ブックトラックに用意した本の一部】

番号	書名	著者	番号	書名	著者
1	ふたりシリーズ	アーノルド・ローベル	10	ふゆのよるのおくりもの	芭蕉みどり
2	ともだちやシリーズ	内田麟太郎	11	バムとケロシリーズ	島田ゆか
3	どんなにきみがすきかあててごらん	サム・マクブラットニイ	12	きゃべつくんとぶたやまさん	長新太
4	しろいうさぎとくろいうさぎ	ガス・ウイリアムズ	13	ぐりとぐらシリーズ	中川李枝子
5	いたずらうさぎデイビーとつてもともだちなんだもん	イブ・タルレ	14	はちみつだいすき	なかのひろたか
6	きみにあえてよかった	エリザベス・デール	15	おおきなすいか	なかのひろたか
7	ケイティーとおおきなくまさん	ヨゼフ・ウイルコン	16	ライオンとねずみ	リーセ・マニケ
8	しろくまくとこわがりうさぎ	ハンス・ド・ビア	17	だいじょうぶだいじょうぶ	いとうひろし
9	ティラノサウルスシリーズ	宮西達也	18	だるまちゃんとだいこくちゃん	加古里子

(4) 教科等の学習や日常生活への活用例

- ・自分が考えたことをなぜ、そう思ったのか理由も付けて説明する。(学級活動)
- ・帰りの会のスピーチコーナーで、「お薦めの本」の紹介をする際、登場人物について説明したり、あらすじを簡単にまとめたりして、紹介する。(日常活動)

2 学習指導目標及び評価規準

	学習指導目標	評価規準
国語への関心・意欲・態度	◎二人組が心を通わせるストーリーの本を楽しんで読み、好きな場面を紹介しようとする。	・二人組が心を通わせるストーリーの本を楽しんで読み、好きな場面を紹介しようとしている。
読む能力	◎二人組が心を通わせる本を読み、好きなところについて、自分の思いや考えをまとめ、発表することができる。(読オ) ○二人組が心を通わせるストーリーの本を楽しんで読み、紹介したい本を選ぶことができる。(読カ)	・二人組が心を通わせるストーリーの本を読み、好きなところについて、自分の思いや考えをまとめ、発表している。 ・二人組が心を通わせるストーリーの本を楽しんで読み、紹介したい本を選んでいる。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○文の中における主語と述語との関係に注意すること (イ(カ))	・主語と述語との関係に注意し、中心人物の行動を的確にとらえている。

3 学習指導計画（全13時間）

【主な段階】

【主な学習活動】

【主な活用】

第1次
単元のねらいを知り、学習の見通しをもつ。
(2時間)

- ① 図書ボランティアから二人組が出てくる本のブックトークや読み聞かせを聞く。
 - ② 単元の学習計画を立てる。
- <評価> _____
- ①② 二人組が出てくる本の中からすてきな二人組を見付けて、紹介し合うというねらいを理解し、学習の見通しをもっている。
- 《態度・発言・シート》

第2次
「お手紙」を読み、がまくんとかえるくんのすてきだなと思ったところを紹介し合う。
(5時間)

- ③ 「お手紙」を読み、初発の感想を交流し、話のおもしろさを話し合う。
 - ④ がまくんとかえるくんの特徴や二人の関係を読み取る。
 - ⑤ がまくんとかえるくんのすてきだなと思ったところをまとめる。
 - ⑥ 自分がすてきだなと思ったところを紹介する方法を考え、準備や練習をする。
 - ⑦ すてきだなと思ったところを紹介し合う。
- <評価> _____
- ③ 物語の展開をとらえ、話のおもしろさを見付けている。《ノート・発言》
 - ④ がまくんとかえるくんの行動や会話文を基に、二人の特徴や二人の関係をまとめている。《ノート・発言》
 - ⑤ がまくんとかえるくんのすてきだなと思ったところを理由も付けてまとめている。《ノート》
 - ⑥ 紹介するための準備をし、相手に伝わるように練習をしている。《練習の様子》
 - ⑦ すてきだなと思ったところを理由も付けて、相手に伝わるように紹介している。《発表・シート》

第3次
二人組が出てくる本の中から、友達に紹介したい本を選び、自分が好きなどころを中心に紹介するための準備をする。(3時間)

- ⑧ これまで読んできた本の中から、すてきな二人組が書いてある本を選ぶ。
 - ⑨ 自分が選んだ本について、紹介する内容をまとめる。
 - ⑩ 紹介のための準備や練習をする。
- <評価> _____
- ⑧ 友達に好きなどころを紹介するという目的をもって、すてきな二人組が書いてある本を選んでいる。《態度・ブックリスト》
 - ⑨ 「お手紙」で学習したことを生かし、自分が選んだ本の紹介をするために必要な項目をまとめている。《シート・発言》
 - ⑩ 選んだ二人のすてきなどころが伝わるように、紹介の準備や練習をしている。《練習の様子》

「お手紙」の学習で、紹介の要素をとらえたことを生かして、自分の紹介したい本について内容をまとめる。

第4次
すてきな二人組が書いてある本を紹介し合う。(3時間)

- ⑪⑫ すてきな二人組が書いてある本を紹介し合う。(本時1/2)
 - ⑬ 単元の学習を振り返る。
- <評価> _____
- ⑪⑫ 自分が選んだ本のすてきなどころが伝わるように、紹介している。《発表・シート》
 - ⑬ 単元を通して学んだことや身に付けた力について振り返り、自分の成長を感じている。《シート・発言》

「お手紙」の学習でがまくんとかえるくんを紹介した技能を生かして、自分がすてきだなと思った二人組を紹介する。

本時の指導

(1) ねらい

自分が選んだ本に出てくる二人組の素敵だなと思ったところを紹介することができる。

(2) 既習の知識・技能を活用する言語活動

中心学習材「お手紙」では、中心人物のすてきなところを会話や行動、場面や二人のかかわりの中から選び、その理由や感想をまとめ、発表の仕方を工夫し、紹介し合うことができた。そこで、学んだ紹介の仕方の知識・技能を生かし、自分が選んだ本に出てくる二人組のすてきなところについてそれぞれが選んだ方法で紹介する。

(3) 展開

段階	学習活動・学習内容	形態	指導上の留意点
つかむ	1 本時の学習課題を確認する (1分) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">自分が選んだ二人組の素敵だなと思ったところをしようかいしよう。</div>	全	○「お手紙」で紹介し合ったように、自分が選んだ本を紹介合うことを確認する。 ○紹介の仕方や流れについて確認する。
	2 課題解決の見通しを図る (2分)	全	
自分が選んだ本の二人組のすてきなところを紹介し合う	3 学習課題を解決する (1) 紹介の練習をする (5分) (2) グループⅠで紹介し合う (12分) (3) グループⅡで紹介し合う (12分) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">紹介の内容 ・本の名前 ・出てくる二人の紹介 ・すてきなところ (会話、行動、場面、二人のかかわり方) ・すてきなところの理由 ・お薦めの言葉</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">紹介の方法 ・ペーパーサート ・紙芝居 ・お面など</div>	個 グ	「友達に自分の選んだ二人組のすてきなところが伝わるように、練習をしましょう。」 「グループで紹介しましょう。」 ○4～5人のグループで紹介し合う。 ○全員が選んだ本のブックリストを持ち、読みたいと思った本にチェックできるようにする。 ○早く終わった場合は、友達の本を読んで待つようにする。
	4 友達の発表を聞いて、読んでみたいと思った本について、発表し合う。 (5分)	全	＜評価＞ A 自分が選んだ本の二人組のすてきなところを二人のかかわり方にも触れながら紹介している。 B 自分が選んだ本の二人組のすてきなところが伝わるように、自分が選んだ方法で紹介している。 Cへの支援 ワークシートを見て紹介させるなどし、最後まで発表できるよう手助けする。 ○グループⅡでは、相手を変えて同じことを行う。 「友達の発表を聞いて、ぜひ読んでみたいと思った本がありましたか。」 ○友達の発表から、読んでみたいと思った本とそう思った理由も一緒に紹介できるようにする。

ま と め る	5 学習を振り返る (1) 自己評価する。(5 分)	個	○「友達に伝わるように発表できた。」「友達の発表の、ここがいいと思った。」など、今日の学習でできたことや友達の発表の良さを視点に自己評価させる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・できたこと ・友達との交流で学んだこと 		
	(2)振り返りを交流する (2分)	全	○本時のねらいにかかわる評価をしている子どもを意図的に指名し、価値付けを図る。
	6 次時の学習内容を確認する (1分)	全	○次時は、違う友達と紹介し合うことを確認する